

令和3年度 学校関係者評価報告書

令和3年6月25日
学校関係者評価委員会
ホンダ テクニカル カレッジ 関東

1. はじめに

学校関係者評価とは、学校の自己評価の客観性・透明性を高め、学校と密接に関係する者の理解促進、連携協力による学校運営の改善を図ることを目的としています。具体的には、学校が策定した重点目標、計画の実施について自己評価を行い、その結果を踏まえ、今後の取組方針などについて、学校が選定した学校関係者評価委員に説明し、教育活動、学校運営等に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言、評価等を頂くことで学校改善につなげることを目指しています。

学校法人ホンダ学園 ホンダ テクニカル カレッジ 関東（以下、ホンダ学園）においては、平成26年10月に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を発足させ、令和3年度は、学校関係者評価委員会を2回開催、教育編成委員会を2回開催する中、委員の皆様から幅広い意見、助言、評価を頂きました。

その結果を本報告書にまとめ、今後の教育内容や学校運営等の改善に活かすことを推進しています。

2. 令和3年度 学校関係者評価委員会開催概要

・日時：令和3年5月20日（第1回委員会） 令和3年6月25日（第2回委員会）

・場所：ホンダ 学園 講堂

・評価委員	関谷 雅裕（委員長）	（株）ホンダカーズ埼玉 取締役 事業管理本部 本部長 兼 コンプライアンスオフィサー
	森山 吉樹	（株）オートテックジャパン 人事部 部長
	金子 明	ふじみ野市役所 総合政策部 部長
	松岡 孝	本田技研工業（株） 日本本部 地域人事部 主事
	藤井 潤	後援会 会長
・学校側出席者	勝田 啓輔	校長
	達富 由樹	教務部長
	嶋 健司	サービスエンジニア1課 課長
	熊原 文人	サービスエンジニア2課 課長
	中野 健二	開発エンジニア課 課長
	山田 和宏	学務室長代理
	山口 靖之	事務局（教頭兼学務室長）
	中嶋 歩	常務理事（オブザーバー）

【学校関係者評価委員会 式次第】

<第1回委員会>

- ・委員長挨拶
- ・校長挨拶
- ・令和2年度 学校方針に基づく運営実績報告
- ・令和2年度 自己点検・自己評価報告書の説明
- ・質疑応答
- ・次回委員会開催について

<第2回委員会>

- ・委員長挨拶
- ・校長挨拶
- ・第1回委員会議事録の確認、共有
- ・各委員からの質問、提言、評価への回答
- ・教育課程編成委員会会議開催内容の報告
- ・委員会評価のまとめ
- ・質疑応答
- ・今後の評価結果公表について

3. 令和3年度 教育課程編成委員会開催概要

・日時：令和3年5月28日（第1回委員会） 令和3年6月18日（第2回委員会）

・場所：ホンダ学園 第一会議室

・評価委員	勝田 啓輔（委員長） 鈴木 尚也 中妻 茂 富田 英則 中村 純一	校長 (株)ホンダテクノフォート 人事部 一般社団法人 埼玉県自動車整備振興会 (株)ホンダカーズ久喜 社長 (株)ホンダプロモーション（ホンダカーズ川越）統括部長
・学校側出席者	山口 靖之 達富 由樹 嶋 健司 熊原 文人 中野 健二	教頭 兼 学務室長 教務部長 サービスエンジニア1課 課長 サービスエンジニア2課 課長 開発エンジニア課 課長

【教育課程編成委員会 式次第】

＜第1回委員会＞

- ・委員長挨拶
- ・校長挨拶
- ・令和2年度 学校方針に基づく運営実績報告
- ・令和2年度 自己評価書の説明
- ・質疑応答
- ・次回委員会開催に向けて

＜第2回委員会＞

- ・委員長挨拶
- ・校長挨拶
- ・第1回委員会議事録の確認、共有
- ・各委員からの質問、提言、評価への回答
- ・質疑応答
- ・今後の評価結果公表について

【実施方法】

学校側より、学園概要、教育内容、令和2年度の重点課題、重点目標を説明し、まず委員会での課題共有を図りました。その後、令和2年度の自己点検・自己評価報告書による評価結果の説明をし、質疑応答を通して意見交換を行い、更に詳細に課題認識を深めました。そして、第2回委員会にて、各委員の皆様より頂いた質問、提言、評価に対して回答を行い、質疑応答及び意見交換を図り、学校関係者評価委員会として最終評価を取り纏めました。

次ページより基準ごとの評価結果を報告致します。

5. 評価結果

基準1:教育理念・目的・育成人材像等

「世界に歓迎される人間の育成」や「チャレンジ精神」などホンダ直営の学校に即した理念は、貴校の最大の強みであり、ホンダらしさに溢れた素晴らしい教育理念です。

教職員はもとより、カレッジガイドやシラバス等によって外部にも広く周知され、Hondaの持つ資源を有効活用し、それを強みとした学校運営がなされていることを確認しました。

また、開発・設計工学コース等の取組みは、メーカー校の強みを企業のニーズと合致させ、将来を見据えた教育となっており、今後の成果を期待します。

基準2:学校運営

中期計画に定められた「選ばれる学園の確立」の実現のために、事業計画に沿った学校運営がなされています。また、方針やルールを定めた上でシンプルかつ明確に運営され、自由闊達な風土が創られる工夫が徹底されていると思います。なお、学生数の確保がどの学校も大変厳しい状況ではありますが、今後も優秀な学生確保を引き続きお願いします。

基準3:教育活動

新機構、新技術などに対応したカリキュラムの見直し等をはじめ、技術のみに留まらず接客、安全運転、キャリア教育、入学前教育、イベント活動など、独自の工夫により魅力ある教育活動となっています。尚、学習意欲は教員の教え方・人間的魅力にも左右されることからコーチングスキル向上に繋がる研修や就職後の仕事内容のギャップを極力少なくするための教育をお願いします。

尚、WEBアンケートや資格指導内容のオンデマンド配信などをはじめとした、IT化の推進が図られています。尚、WEBアンケートや資格指導内容のオンデマンド配信などをはじめとした、IT化の推進が図られています。尚、コロナ禍における教育の質の維持・向上のために、更なるIT化の推進を図って下さい。

基準4:教育成果

退学率の低減や就職内定率、資格取得率の向上等、施策に対する目標が定量的に設定され、未達成項目については原因を分析し、適切な対応がされていると思います。

また、1級自動車整備士合格率100%未達は残念な結果ではありましたが、特に不合格者について、どの分野が及ばなかったのか、その要因は何か等、非常に詳細に分析されています。来年度改定の3科体制により、特に1級自動車整備士の教育は、1年生から体系的な教育が可能となることから今後の成果を期待します。

基準5:学生支援

就職や健康管理、メンタルヘルスなど支援体制は充実しており、教材(車両等)の調達等においてもメーカー校ならではの支援があり、大変魅力的です。

尚、授業内容は基より、教育施設や部・同好会活動等についても在校生への満足度調査を継続的に実施し、課題解決に向けて取り組んだり、卒業生の就職先での現況確認と離職者への再就職支援は、素晴らしい取り組みと評価します。

一方、近年、奨学金の借入れ等により、卒業後に経済面で困窮してしまう人が多いと思われるので、学校運営の経営基盤強化を図りながら、学生の経済面での支援策もお願いします。

基準6:教育環境

メーカー校の強みを活かし最新の設備等を活用した実践的な教育が行われていると感じます。また、多様な設備や教材に投資され、充実した教育環境になっていることを確認しました。特にコロナ禍における感染予防策は徹底されており、安心した学園生活を送ることができるものと思います。尚、Honda流の安全教育は実践的で有効な活動と感じますので、コロナ禍の中でも実車・現場での教育が図れる様に環境整備をお願いします。

基準7:学生募集と受け入れ

コロナ禍において、様々な学生募集イベントが中止を余儀なくされるなど、募集活動で大変な苦労があったと思いますが、目標を大きく下回ることもなかったことは、的を射た施策と地道な活動の成果と認識します。一方、WEBオープンキャンパスを実施する等、新たな募集活動にも取り組んでいます。今期もコロナにより募集活動への影響が懸念されますが、地道な活動と臨機応変な対応による学生確保をお願いします。

基準8:財務

財務状況については、財務諸表のみならず、事業実績も含めてホームページで公表されています。また、外部監査人による監査も実施されており、透明性の高いものとなっています。引き続き、学生や保護者のニーズを的確に捉えた学園運営と、収支改善計画の着実な実行による確固たる経営基盤の確立を期待します。

基準9:法令等の遵守

コンプライアンス(法令順守)については、適正に遵守されています。
特に近年、個人情報保護の徹底が求められており、ひとたび問題を起こすと当事者への影響はもちろん、その信頼回復には多くの時間とコストが必要となります。
引き続き、教育現場として十分、個人情報保護の対策を講じ学校運営をお願いします。
一方でサイバー攻撃のリスクはどここの学校にも潜んでいることから、Hondaのシステム部門とも連携し、現状のセキュリティ対策の点検をお願いします。